

エコールみよた Clip Board

エコール
みよた
32-2770

参加者募集

パソコン教室④ 年賀状コース

公民館では、「パソコン教室④年賀状コース」受講者を募集します。年末の風物詩である年賀状をパソコンで作成するコース。パソコンで宛名を印刷したり、写真の取り込み方などを学びます。

日 時 11月15日(火)、17(木)
22日(火)、24日(木)、29日(火)
12月1日(木)の6回
昼の部 午前10時～正午
夜の部 午後7時～9時

場 所 エコールみよた
小会議室

対 象 者 町内在住者、在勤者

参 加 費 一人2,000円(テキスト代込み)

募集定員 昼・夜 各11名

申込受付 10月15日(土)

午前9時から9時30分までエコールみよたロビーで受け付けを行います。申し込みが定員を超えた場合は、抽選にさせていただきますので、ご了承ください。(電話受付は、行いません。)

問い合わせ先

御代田町公民館 (32) 2770

浅間縄文
ミュージアム
32-8922

■シリーズ講座

佐久の大地に刻まれた災害史 第3回 1783年 浅間山天明の大噴火

日時 10月2日(日) 13:30～15:00
講師 浅間縄文ミュージアム 主任学芸員 堤 隆
場所 エコールみよた 大会議室
(申込不要、聴講無料)



浅間山の噴火(現在の参考例)

■縄文式料理ワークショップ

縄文土鍋で秋の味覚を堪能!

縄文土器と山の幸を使い、料理をして食すワークショップです。

日時 10月16日(日) 9:00～12:00
講師 北沢正和先生(職人館 料理人)
場所 エコールみよた 浅間縄文ミュージアム
定員 20名 受講料1,500円
申し込み先 浅間縄文ミュージアム

フレンドリー
図書館
32-0800

読書週間がはじまります

期間:10月27日(木)～11月9日(水)

標語:「信じよう、本の力」

人々の希望を奪った大震災…。今、復興した書店は多くの人で賑わっていると聞きます。失ったものはもう戻ってこないけれど、本には人を元気づけたり、人の悲しみに寄り添う力があると思います。こんな時代だからこそ、ぜひ多くの人に本を読んでもらいたいです。(標語の受賞者のことばより)

期間中は、ひとり10冊まで貸出しますので、どうぞご利用ください。

10月のおはなし会の予定

ちいさいおともだちのおはなし会(幼児向け)

10月6日(木)・20日(木) 午前10時30分～

おはなし会(幼児・小学校低学年向け)

10月8日(土) 午前10時30分～

小学生におくるおはなし

10月22日(土) 午前10時30分～



募集人員 先着100名(25組) 町民ゴルフ大会参加者募集!

11月13日(日)
会場: 大浅間ゴルフクラブ

申込締切: 10月23日(日)
競技方法: 新ペリア方式(上限なし!)
参加資格: 御代田町在住・在勤者
参加費: 11,000円

この大会は、町民ゴルファーの親睦・健康増進・技術やマナーの向上を目的に開催しています。大会は、新ペリア方式。しかも上限無しで行います。初心者の方が優勝するかも知れません。また、2人までは同じ組にすることもできますので、ご夫婦、お友だちと一緒に参加してみませんか。組み合わせは大会の一週間ほど前に発表します。参加申込は、教育委員会社会体育係(B&G海洋センター)に用意してある申込用紙に氏名、生年月日、HC、区名を記入し、参加費を添えてお申し込みください。電話での申し込みはお受けできません。

申し込み・問い合わせ先 教育委員会社会体育係 (32)6114

BOOK
コーナー

ほんとに、いい出会い。

はじめまして

絵本の世界



『新幹線のたび〜はやぶさ・のぞみ・さくらで日本縦断〜』
コマヤスカン/作
講談社

十月十四日は「鉄道の日」です。機関車や電車、新幹線の出る絵本はたくさんありますが、なかでも人気のある絵本、新旧二冊を紹介します。

『新幹線のたび』
はるかちゃんの家は青森にあります。これから、お父さんと新幹線を乗り継いで、鹿児島のおじいちゃんのうちへ行きます。

朝六時、雪の降る新青森駅から「はやぶさ」に乗り、九時半には東京駅に着きました。東京駅で「のぞみ」に、新大阪駅で「さくら」に乗り継ぎ、熊本あたりで日が暮れてきました。暗くなったところに着いた鹿児島では、もうさくらが咲いています。

新幹線のたびのお話とともに、日本の名所を見渡せる絵本です。こつこつひそんでいる小さなものたちも探しながら楽しんでください。



『いたずらきかんしゃ ちゅうちゅう』
バーニアリー・バートン/文
福音館書店

『いたずらきかんしゃ ちゅうちゅう』
まっくろくて、きれいなかわい
い機関車ちゅうちゅうは、たく
さんの人と荷物を乗せて、小さな町
から大きな町へ走って行きます。

ある日、ちゅうちゅうは、ひとりならもつと速く走れるし、みんなの注目を集めることができる
と考えました。次の日、ちゅうちゅうは、畑の間や町の中をひとり
走り出します。牛や馬やにわとり
人もびっくりして逃げ回り、踏切
では、通り抜けていくちゅうちゅう
うにあわてた自動車やトラックが
ぶつかり合い、みんな怒り出して
しまいました。やがてちゅうちゅう
うは、古い線路に迷い込み、動け
なくなってしまう。

ちゅうちゅうは、探しに来た機
関士さんと最新式の汽車に引っぱ
られて、やつとうちに帰ることが
できました。